

平成30年度県央5年・4年サッカーリーグ代表者会議資料

○と き 平成30年4月14日(土)
○ところ 大和市渋谷学習センター

議題 1 平成30年度県央リーグについて

- ① リーグ戦開催要項について
- ② リーグ戦競技規則の確認について
- ③ 参加チームの確認について
- ④ 試合について(前期・中期・後期)
- ⑤ 結果報告について(幹事に報告)
- ⑥ 参加費の徴収(1チーム 7,000円)
- ⑦ 前期日程調整表及びチーム連絡名簿提出
- ⑧ 幹事の選出について
(5年)
(4年)

議題 2 県央サッカーリーグの今後のスケジュールについて

- ◆別紙参照
- ◆期限を必ず守って下さい。
- ◆試合の日程調整に協力して下さい。(10日以上)
- ◆有料施設の使用は、できるだけ使用しないようにお願いします。

議題 3 その他

- ① ユニホームは2色用意。
- ② 雨天の判断は会場担当が行い、チームに連絡する。
- ③ 雷・大雨・突風・台風等の時は試合を中止する。
- ④ 暑い日の試合の時は、飲水タイム及びクーリングブレイクを適用して下さい。(時間を止める)
- ⑤ 1日の試合数は2試合までとする。(月2~3試合を行う)
まとめて行わないようにする。

平成30年度 県央少年サッカーリーグ参加チーム名簿

(5年生リーグ) 幹事()

No	地区名	チーム名
1	相模原市	FCアロンドラ相模原
2	相模原市	上溝FC
3	相模原市	ARTE相模原
4	相模原市	相模野サッカークラブ
5	厚木市	F. C. Crescer
6	厚木市	林SC
7	大和市	大和南FC
8	大和市	緑野FC
9	座間市	小松原サッカークラブ
10	秦野市	西FC
11	秦野市	東海ブレッズ
12	伊勢原市	SFAT I SEHARA SC
13	伊勢原市	成瀬サッカー少年団
14	海老名市	海老名FC
15	海老名市	海老名キッカーズ
16	綾瀬市	綾瀬F. C. ジェッツ

(4年生リーグ) 幹事()

No	地区名	チーム名
1	相模原市	ミハタサッカークラブ
2	相模原市	FCアロンドラ相模原
3	相模原市	上南サッカークラブ
4	相模原市	バディーSC中和田
5	厚木市	愛川サッカークラブ
6	厚木市	ペアーズ戸田SC
7	大和市	緑野FC
8	大和市	西鶴間SC
9	座間市	FCレガール
10	秦野市	くずは台キッカーズ
11	秦野市	本町サッカー少年団
12	伊勢原市	FCしらゆりシニガルス 成瀬サカ~少年団
13	伊勢原市	山王JFC
14	海老名市	FCオリオン
15	海老名市	中新田FC
16	綾瀬市	綾瀬F. C. ジェッツ

平成30年度県央5年・4年サッカーリーグ年間スケジュール

(4月)

14日(土) 平成30年度県央サッカーリーグ代表者会議
前期日程表・連絡者名簿提出

(5月)

12日(土) 前期開幕

(7月)

15日(日) 前期終了

(8月)

*8月はリーグ戦ありません。

12日(日) 中期試合日程表提出(学年幹事へ)

20日(月) 中期試合日程表チームへ送付(前期成績送付)

(9月)

1日(日) 中期開幕

(10月)

10日(水) 後期試合日程表提出(学年幹事へ)

20日(土) 後期試合日程表チームへ送付(中期成績送付)

28日(日) 中期終了

(11月)

3日(土) 後期開幕

(12月)

24日(月) 後期終了(全日程終了)予定

(31年3月)

9日(土) 表彰式予定

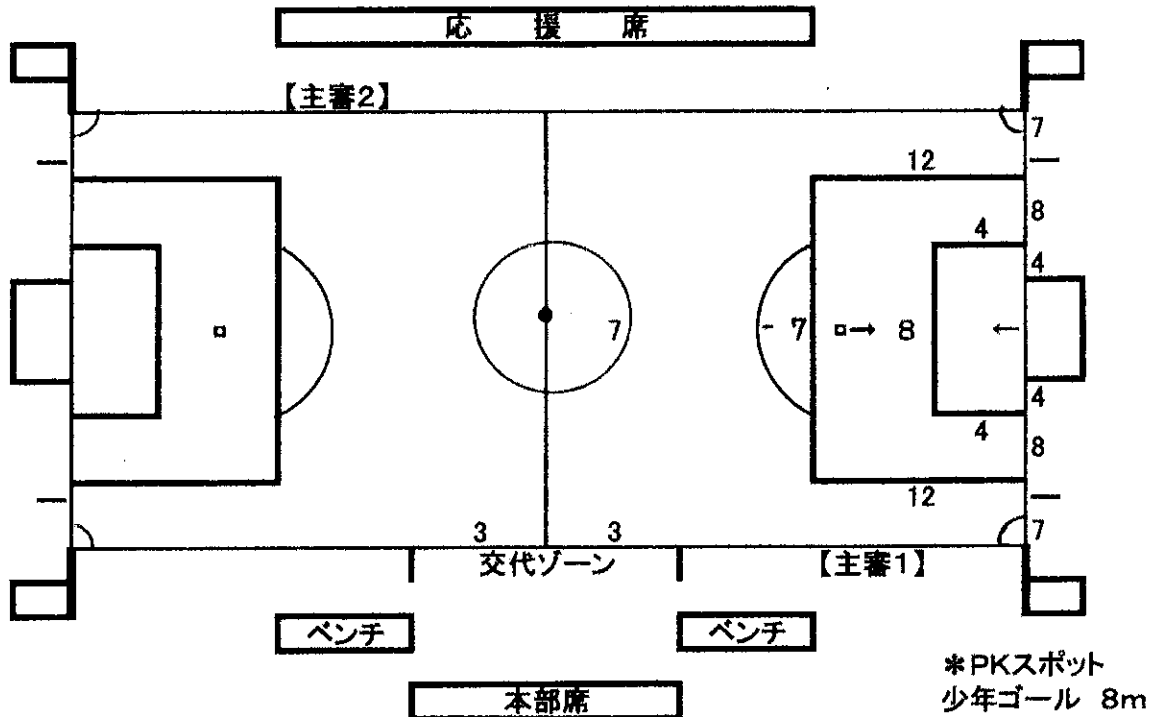
平成30年度 県央少年サッカーリーグ開催要項

- 1、主 催 県央少年委員会
- 2、期 日 平成30年5月～12月（土・日曜日及び祝日）8月はなし
- 3、対 象 ◆5年生（16チーム） 5年生以下 （120試合）
◆4年生（16チーム） 4年生以下 （120試合）
- 4、参加基準 ①会場を提供できるチーム。
②県央リーグを優先できるチーム。
③各市から推薦されたチーム。（選考は各市で決める）
- 5、選考方法 各市各2チームとする。ただし協会参加の関係で変更あり。
- 6、参加費 1チーム 7,000円
- 7、表 彰 各部の優勝から第3位までに賞状及び記念品を授与する。
- 8、競技方法 ◆総当りリーグとする。（8人制）
◆チームの試合が1日2試合できるようにする。（月2～3試合）
- 9、競技規則 ①試合は8人制とし、8人で試合成立とする。
7人以下は不戦負とする。また5人になった時は負けとする。
②試合時間は15分ハーフとする。
③選手交替は8人制の自由な交代とする。（人数制限しない）
④競技場は（68m～×50m）を基本とする。
⑤試合球は4号検定ボールとしチーム持ち寄りとする。
⑥同点の時はPK戦（3人）を行う。
⑦勝点の多いチームを上位とする。
・勝（3点）、PK勝（2）、PK負（1点）、負（0点）、
不戦勝（3点）3-0、不戦負（-1）0-3
・勝点と同じ場合は①得失点差②総得点数③該当間成績④抽選
⑦フリーキックは7mとする。
⑧審判は2人制とする。
⑨その他日本サッカー協会8人制競技規則に準ずる。
- 10、その他 ◆リーグ戦が5月～12月までに終わるように調整する。
◆ユニホームは2色用意し同色の場合は主審のトスによる。
◆会場に迷惑のかからないようにし車は最小限にする。
◆雨天による判断は会場責任者が決定しチームに連絡する。
◆事故・怪我についてはチームで対処する。
◆5・4年ブロックに責任者を置き運営にあたる。
- 11、担当者 県央少年委員会委員長 杉本 実 090-1037-2934

県央少年サッカーリーグ競技規則【8人制】

平成30年度県央少年サッカーリーグを、次のとおり行いますので確認をお願いします。

1、競技場 (基準 68m×50m)



2、ボール

◆4号検定球を使用する。(チーム持ち寄り)

3、競技人数

◆1チーム8人とする。(内1名はゴールキーパーとする) 8人未満の場合は不戦敗とする。

*選手交代は自由な交代とする。(再出場可)

*選手交代はインプレー中を問わず交代ゾーンから、退場者が出てから入ることができる。

ただしゴールキーパーはアウトオブプレーの時とする。

*試合中5人以下になった場合は失格とする。勝点-1でスコア0-3(3点以上の得点はその得点とする)

4、競技者の用具

◆固定式スパイクかトレーニングシューズとスネ当てを付けること。

5、競技時間

◆試合時間は15分ハーフとする。

6、競技開始

◆8人制に準ずる。

◆キックオフから直接相手ゴールに入った場合は、得点ではなく相手にゴールキックを与える。

7、反則と不正行為

◆8人制に準ずる。

◆退場・警告はその試合のみとする。(退場者の補充はできる)

8、フリーキック (7mとする)

◆8人制に準ずる。

9、インプレーとアウトオブプレー

◆8人制に準ずる。

10、スローイン

◆8人制に準ずる。

11、ペナルティーキック

◆8人制に準ずる。

12、コーナーキック

◆8人制に準ずる。

13、オフサイド

◆8人制に準ずる。

14、その他

①ベンチは指導者3名と交代選手とする。

②ゴールは少年用ゴールを使用する。

③同点の時は、PK戦(3本)を行う。

④リーグは勝点の多いチームを上位とする。【勝】3点【PK勝】2点【PK負】1点【負】0点、とする。

勝点が同じ場合は①得失点差②総得点数③該当間の成績④抽選とする。

不戦勝(勝点3点)スコア3-0 不戦負(勝点-1点)スコア0-3とする。

⑤ユニホームは2色用意し、チーム間で調整が出来ない場合は、主審のトスで決定する。

⑥雨天の判断は会場責任者が行い、チームに連絡をする。

⑦事故・怪我については、チーム代表者の責任において対処する。

⑧暑い時期は飲水タイム及びクーリングブレイクをとる場合は、会場責任者及び審判員が相談して決定し、チームに通告する。

⑨選手の安全を優先し、雷・台風・大雨の時は早めに判断し、中止・待機等安全策をとる。

⑩試合の成立は前半が終了した時点で成立とする。前半の途中で中止の場合は再試合とする

※その他日本サッカー協会8人制競技規則に準ずる。

15、審判

①審判は2人制とし、2人共笛をもち半コートを担当する。キックオフ・タイムアップ・GKの交代は第1主審が行なう。タッチラインは自分側のすべてを判定する。

②笛が同時の場合は重い反則を優先する。

16、試合結果報告

◆学年幹事にFAX・郵送・メール等で報告をする。(3日以内に報告)

JFA U-12サッカーリーグ2018県央地区リーグの熱中症対策について

7月～9月の試合については、熱中症対策として下記事項を守り試合を行う。

①WBGT=31° 以上の場合は、試合を中止または延期する。

試合を行う場合は「JFA 熱中症対策ガイドライン (A+B)」を講じた上で「クーリングブレイク」を行う。

②WBGT=28° 以上の場合は、「JFA 熱中症対策ガイドライン (A)」を講じた上で「クーリングブレイク」を行う。

③WBGT=25° 以上の場合は、「JFA 熱中症対策ガイドライン (A)」を講じた上で「クーリングブレイク」または「飲水タイム」を行う。

1、気温の30度を超える場合は、「熱中症アラーム」により計測を行ない注意しながら、試合を行なう。

2、一番暑い時間帯の午後2：00～4：00は、試合を行わないようにする。

午前（8：00～2：00） 午後（4：00～7：00）に行う。

3、暑い日には、「飲水タイム」及び「クーリングブレイク」を適用する。

◆「飲水タイム」

前半・後半の試合中ばで、ベンチ前で飲水を行う。指導者は指示等してはいけない。（1分位）この時間に係る時間は試合を止めて行う。

◆「クーリングブレイク」 【ベンチに入ってから3分間の休息】

・日陰のあるベンチに入り休む。

・氷・アイスパック等でからだを冷やし、必要に応じて替替えをする。

・氷だけでなくスポーツドリンク等を飲む。

【留意点】

①試合の流れの中で、両チームに有利・不利が生じないように、アウトオブプレーの時に主審が判断して設定する。

②戦術的な指示もできる。

③チームがからだを冷やすために持ち込む器具は、事前に会場責任者の了解を得る。

④審判員は試合開始時に出場選手の確認を行う。会場責任者もサポートする。（ベンチの選手は、ピプス等で区別する）

⑤審判員も「クーリングブレイク」を行う。

⑥「クーリングブレイク」に費やした時間は、試合時間に追加される。

4、注意事項

- ◆選手の健康管理に十分注意して試合を行う。
- ◆試合のベンチには、テント等の日陰を用意する。(チーム持参でもよい)
- ◆人工芝での試合は十分注意し、暑い時間帯は行なわない。
- ◆会場責任者は試合状況を把握し、審判員等協議して試合を行う。

『JFA 熱中症対策*1』

<A>

- ① ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。
※全選手/スタッフが同時に入り、かつ氷や飲料等を置けるスペース。
※スタジアム等に備え付けの屋根が透明のベンチは、日射を遮れず風通しも悪いため使用不可。
- ② ベンチ内でスポーツドリンクが飲める環境を整える。
※天然芝等の上でも、養生やバケツの設置等の対策を講じてスタジアム管理者の了解を得る。
- ③ 各会場に WBGT 計を備える。
- ④ 審判員や運営スタッフ用、緊急対応用に、氷・スポーツドリンク・経口補水液を十分に準備する。
- ⑤ 観戦者のために、飲料を購入できる環境(売店や自販機)を整える。
- ⑥ 熱中症対応が可能な救急病院を準備する。特に夜間は宿直医による対応の可否を確認する。
- ⑦ [Cooling Break*2]または飲水タイムの準備をする。

- ⑧ 屋根の無い人工芝ピッチは原則として使用しない。
- ⑨ 会場に医師、看護師、BLS(一次救命処置)資格保持者のいずれかを常駐させる。
- ⑩ クーラーがあるロッカールーム、医務室が設備された施設で試合を行う。

平成30年度 県央少年サッカーリーグメンバー表 (5年・4年)

年・月・日	2018年 月 日	試合会場	
-------	---------------------	------	--

自チーム名	対戦チーム名
-------	--------

NO.	背番号	先発	選手氏名(フルネーム)	NO.	背番号	先発	選手氏名(フルネーム)
1				12			
2				13			
3				14			
4				15			
5				16			
6				17			
7				18			
8							
9							
10							
11							

(メンバー表提出に際しての注意事項)

1. 先発メンバーは「先発」の欄に○を入力(記入)してください。
2. 選手氏名はフルネームで記入してください。
3. メンバー表は一試合毎の提出となります。各チームで必要枚数をコピーし、持参してください。(A4版)
4. 試合開始30分前までに、本表を会場本部に提出してください。
5. この表は県協会ホームページよりダウンロードしてください。
PC入力でも手書きでも構いません。
(<http://www.kanagawa-fa.gr.jp/ohikiden>)

ユニフォームカラー						
	フィールドプレーヤー			ゴールキーパー		
	ウエア	シューズ	ソックス	ウエア	シューズ	ソックス
正						
副						

チームスタッフ	
監督	
コーチ	
コーチ	

※チームスタッフは試合当日担当する方を記入する。